



# 園長だより

令和8年1月5日発行

ありんこ親子保育園

園長 中嶋 悦子

保護者の皆さま、あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は午（うま）年です。馬は、力強く前へ進む一方で、人の気持ちをよく感じ取る、やさしさと賢さをあわせ持った動物だと言われています。また、「物事がうまく進む」「元気に駆け抜ける」といった、明るく前向きな意味も込められている干支です。今年も保護者の皆様のご健勝と子どもたちの健やかな成長を心よりお祈り申し上げます。



さて、年明けの園には、久しぶりに顔を合わせた子どもたちのうれしそうな笑顔があふれています。「あけましておめでとう！」という元気な声や、何気ない一言にみんなで大笑いする姿を見ていると、こちらまで明るく楽しい気持ちになりますね。“笑い”や“ユーモア”がある園っていいな、としみじみ感じています。今月は、『ユーモアの大切さ』というテーマで考えてみたいと思います。

## ユーモアとは？

ユーモアとは、ただふざけることや冗談を言うことではありません。物事を少し違う角度から見てみると、失敗や困りごとを「まあ、そんなこともあるよね」と受け止める心の余裕のことだと思います。また、ユーモアとは、人を和ませる「おかしみ」や、場の空気を軽くする知的で上品な笑いのことで、ユーモアは、相手を傷つけずに安心感や親しみを生み出す力を持っていると考えます。

他にも、失敗やトラブルを深刻にせず、軽く笑いに变えることで場を和ませる効果。ユーモアのある人は自然と人を惹きつけ、居心地の良い雰囲気をつくる親しみやすさ。緊張を解き、相手との距離を縮める「安心を届ける技術」として現代社会で重要視されているコミュニケーション技術になるという効果があります。これは、大人になってとても大切なコミュニケーション能力の一つです。小さいうちから、そんな温かみのある人の中で育つことが大切なんですね。

保育の現場では、思い通りにならない場面が毎日のようにあります。作っていたものが壊れてしまった、順番を抜かされた、言いたいことがうまく伝わらなかった…。そんなとき、子どもたちは本気で悔しがったり、怒ったり、泣いたりします。

でも、そこで大人が少し表情を和らげて「ありゃ、びっくりしたね」「これは大事件だねえ」と声をかけると、子どもたちの緊張がふっとほどけることがあります。涙が笑いに変わる瞬間です。ユーモアは、気持ちを切り替えるきっかけになります。

「失敗＝ダメなこと」ではなく、「次はどうする？」へと心向かせてくれる、大切な力です。ユーモアは、人と人との関係をやわらかくつないでくれます。友だち同士のトラブルでも、どちらかがちょっとお

もしろい言い方をしたことで、場の空気が変わることがあります。「なんだか笑っちゃったね」と言える経験は、相手を許す心や、自分の気持ちを立て直す力につながっていきます。

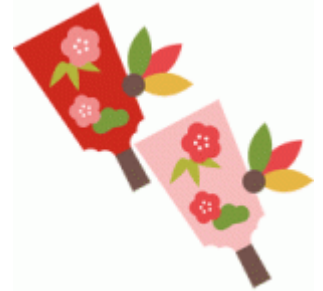
### 大人にとっても、ユーモアは大切

忙しい毎日の中で、つい「早くして」「ちゃんとして」と言ってしまうこともあります。でも、そんなときこそ、子どもの言い間違いや、思いがけない発想に目を向けてみると、思わず笑ってしまう瞬間があります。その一瞬が、私たち自身の心の余裕を取り戻してくれます。

笑い合える関係には、安心感があります。

「この人の前では失敗しても大丈夫」「本当の気持ちを出していい」

そう感じられる環境の中で、子どもたちはのびのびと育っていきます。



### ユーモアを重視している国

特に代表的なのは次の国々です。

- ◎アメリカ：ユーモアはコミュニケーション能力の一つと考えられています。失敗や緊張した場面でも冗談を交え、「大丈夫」「前に進もう」という空気をつくることが評価されます。
- ◎イギリス：皮肉やウィットのあるユーモアが文化として根づいています。自分を少し下げて笑うことで、知性や余裕を示すと考えられています。
- ◎デンマーク・スウェーデン（北欧）：大げさではありませんが、日常の中の小さな可笑しさを大切にします。ユーモアは人を平等につなぎ、安心感を生むものとされています。
- ◎オーストラリア：とてもカジュアルで、自分をからかうユーモアが一般的です。上下関係をやわらげ、仲間意識を高める役割があります。

これらの国に共通しているのは、ユーモアを「楽しさ」だけでなく、『信頼関係や心理的安全性をつくる力』として大切にしている点です。

今年も園では、正しさだけでなく、温かやおもしろさを大切にしながら、子どもたち一人ひとりの思いに寄り添っていきたいと思います。

どうぞご家庭でも、完璧を目指すより、親子で笑い合う時間を大切にしてみてください。その笑顔が、子どもたちの心を強く、しなやかに育ててくれるはずです。

本年が、笑顔とユーモアにあふれる一年になりますように。

